

令和5年度 小麦生育状況 No. 4

岩手県農業研究センター生産基盤研究部 水田利用研究室
(TEL0197-68-4412、FAX0197-71-1081)

1 気象経過

根雪期間は、12月15日から2月27日までの75日間であり、平年より4日少なかった。
4月の気温は平年より高く経過した。降水量は、平年並みとなった。

2 生育概況

越冬後の生育は、草丈が両品種ともに平年より長く、m²当たり茎数は平年並〜少なくなった。幼穂長は両品種とも平年より長くなり、過去5カ年で最も長くなった(表2)。

表1 生育ステージ等

品種	播種年次	播種日 (月/日)	出芽期 (月/日)	幼穂形成期 (月/日)	減数分裂期 (月/日)	出穂期 (月/日)	開花期 (月/日)
ゆきちから	4年	10/5	10/13	3/27	4/24	(5/3)	(5/15)
	平年	10/5	10/13	4/8	5/3	5/12	5/20
	差・比	0	0	-12	-10	-9	-5
ナンブコムギ	4年	10/5	10/13	3/27	4/24	(5/4)	(5/15)
	平年	10/5	10/13	4/8	5/3	5/12	5/20
	差・比	0	0	-12	-10	-8	-5

注1) 平年値は、平成28年、30年、令和元年～3年播種の5か年平均を用いた

注2) 減数分裂期は葉耳抽出(±0cm)の時期

注3) 出穂期、開花期は4月20日現在の幼穂長より推定

表2 生育状況(令和5年4月20日調査)

品種	播種年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	地上部乾物重 (g/株)	幼穂長 (mm)
ゆきちから	4年	49.8	760	4.07	30.4
	平年	28.8	773	1.67	7.4
	差・比	21.0	98%	243%	23.0
ナンブコムギ	4年	58.1	568	4.33	26.8
	平年	31.4	639	2.04	7.1
	差・比	26.7	89%	212%	19.7

注) 平年値は、平成28年、30年、令和元年～3年播種の5か年平均を用いた

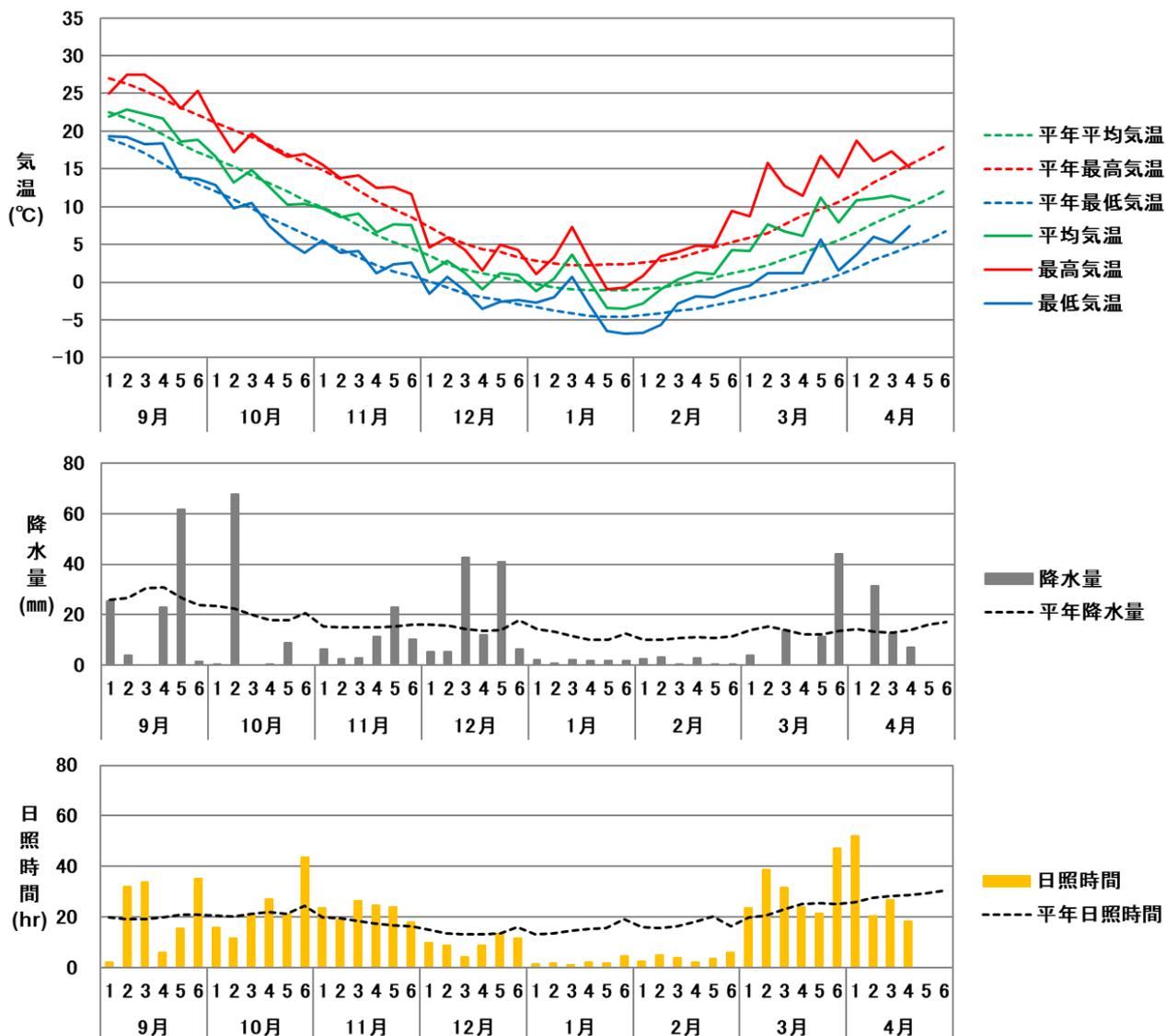


図1 令和4年播種小麦の生育期間中の半旬別気象経過図（北上アメダス）

表1 根雪期間

年次 播種－収穫	根雪期間		
	始め	終わり	日数
R4-5	12/15	2/27	75
R3-4	12/25	3/15	81
R2-3	12/14	2/27	76
R1-2			0 ※
H30-31			0 ※
H29-30	12/12	3/14	93
H28-29	1/9	3/13	64
H27-28	1/14	2/14	32
H26-27	12/2	2/28	89
H25-26	12/20	3/24	95
H24-25	12/24	3/15	82
H23-24	12/23	3/27	96
H22-23	12/24	3/11	78
平年			79

※は、気象庁の定める長期積雪(根雪期間、積雪継続が30日以上)を満たしていないため平均値から除外

根雪期間
 ①長期積雪(積雪継続が30日以上)の時の初日から終日までの期間
 ②積雪継続が10日以上の間が2つ以上で、かつ、2つの期間の無積雪日が5日以内
 ③上記②が2つ以上ある場合はそれぞれを第一、第二とし、根雪期間は第一の初日から第nの終日とする。

表2 耕種概要

品種	ゆきちから	ナンブコムギ
播種期	令和4年10月5日（標準播種期：10月5日）	
栽培様式	密条播（条間30cm）、転換1年目（前作水稲）	
播種量（kg/10a）	7.0（手播き）	6.0（手播き）
堆肥・緑肥（kg/10a）	牛糞堆肥 1,000	
施肥量(kg/10a) 基肥	窒素：6.0 リン酸：8.5 カリ：8.5	
施肥量(kg/10a) 追肥	窒素：4.0（3月24日）	窒素：2.0（3月24日）

雑草・病虫害防除

雪腐病（種子消毒）	ベフラン液剤 25：原液
縞萎縮病（播種前）	フロンサイド SC：600mL※（9月29日）
除草剤（播種後）	ガレース G：5kg（10月7日）
雪腐病（根雪前）	フロンサイド SC：100mL※（11月28日）
除草剤（越冬後）	ハーモニーDF：4g※（4月5日）

※100Lの水で希釈し10aに散布